

横浜市立学校に



オリンピックがやって来る!

5月版

横浜市では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、市内のスポーツ振興を図り、オリンピック・パラリンピックの機運を高めるため、子どもたちがオリンピック・パラリンピアンと直接触れ合う事業を実施しています。

その取組のひとつとして、市立学校にオリンピック・パラリンピアンをお招きし、講演などを行っています。令和元年5月は次のとおり実施します。ぜひ、取材をお願いします。

1 5月の訪問日時及び対象校

	日時	場所	講師
1	5月14日(火) 9時30分～12時15分	永野小学校 (港南区上永谷2-21-10)	石川 直宏氏(オリンピック)
2	5月18日(土) 10時00分～11時30分	境木中学校 (戸塚区平戸3-48-2)	廣瀬 栄理子氏(オリンピック)
3	5月20日(月) 9時30分～12時10分	本牧小学校 (中区本牧和田5-1)	エリック・ワイナイナ氏(オリンピック)
4	5月25日(土) 10時00分～12時00分	旭北中学校 (旭区上白根2-47-1)	大森 盛一氏(オリンピック)

※講師の略歴については裏面をご覧ください。

2 内容

オリンピックによる授業や講演、実技指導等を行います。

3 取材について

事前にオリンピック・パラリンピック推進課までご連絡ください。

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585

裏面あり

< 来訪者略歴 >

石川 直宏 (いしかわ なおひろ) / サッカー



神奈川県横須賀市出身。小学校時、地元の少年少女サッカークラブである横須賀シーガルスに所属。中学に入ると横浜マリノスジュニアユース追浜に所属し、高校進学時に横浜マリノスユースに昇格。2000年には横浜F・マリノスのトップチームに昇格し、Jリーグデビュー。同年、U-19日本代表としてアジアユースに出場。

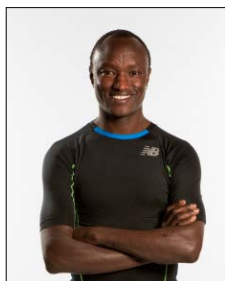
2003年、FC東京に移籍。アテネオリンピックを目指すU-22日本代表として活動する一方で、この年のキリンカップのためのA代表に初選出される。2009年にはJリーグベストイレブンに選出。2017年に現役を引退。現在はFC東京クラブコミュニケーター、日本サッカー協会不服申立委員会委員に就任し、サッカーの普及活動を行っている。

廣瀬 栄理子 (ひろせ えりこ) / バドミントン



1985年兵庫県出身。青森山田高校へ「バドミントン留学」をする。インターハイでは高校1年時にダブルスで優勝、3年時には団体で優勝した。2003年に高校を卒業し三洋電機（現 パナソニック）に入社。その年の全日本総合選手権で3位入賞。2004年の全日本総合選手権では初優勝を果たし10代で女子シングルス日本一に。その後は、攻撃的かつスピード溢れるプレースタイルで、2008年北京オリンピックベスト16、2011年全英選手権準優勝、全日本総合選手権優勝5回など、長く日本の女子シングルス牽引。2014年の全日本総合を最後に現役を引退した。

エリック・ワイナイナ / 陸上



1993年高校卒業後単身ケニアから来日。コニカ陸上競技部に所属し(2006年3月まで)、1994年北海道マラソンでいきなり初マラソン初優勝を飾り一躍注目される。

1996年アトランタ五輪で銅メダル、2000年シドニー五輪で銀メダルの偉業を達成。

3大会連続出場となったアテネ五輪でも7位入賞の実力を見せ、更には2010年サロマ湖100kmウルトラマラソンで優勝。

現在は招待選手・ゲストランナーとして国内・海外問わず数々の大会に出場。

またトークショーやランニング教室を行いながら子どもたちに夢を持つことの大切さや、スポーツの素晴らしさを伝えている。好物はどんぶり物というくらい日本での生活に溶け込み「日本が第二の故郷」。好きな言葉は「Never give up」。

大森 盛一 (おおもり しげかず) / 陸上



92年バルセロナオリンピック4×400m日本代表、96年アトランタオリンピックでは400m出場、4×400mでは5位入賞を果たす。選手引退後は指導者として活動。高田千明のコーチであり、走り幅跳びではコーラー、短距離では伴走者を務める。

世界ユース陸上競技選手権100m・200mで優勝したサニブラウン・ハキームも小学生時代、大森の指導を受ける。